



陸亞密

次官ヨリ南方軍務參謀長、富、渡、治、

林部隊參謀長、船舶參謀長宛通牒

南方地域ニ於ケル船員ノ慰安、休養施設ノ經營ノ爲胡紙ニ基キ日本海運報國團ヲ進出セシムルコトニ定メラレタルニ付通牒ス

通牒先 南方總軍、富、渡、治、林部隊、船舶司令部

陸亞密第三七五三號

昭和拾七年九月廿日

船員慰安休養施設經營ノ爲南方進出ニ關スル件

陸亞密

次官ヨリ日本海運報國團理事長宮田武太郎宛通牒

船員慰安、休養施設經營ノ爲胡紙ニ基キ貴團ヲ南方ニ進出セシムルコトニ定メラレタルニ付通牒ス

陸亞密第三七五三號

昭和拾七年九月廿日

0728

別紙

日本海運報國團ノ南方進出ニ關スル件

一、目的

日本海運報國團ヲシテ南方水域ニ活動スル船員ニ對シ眞ノ慰安休養ヲ與フルト共ニ各種ノ便宜ヲ得シムルニ在リ

二、進出セシムヘキ場所

當分西貢、昭南、蘭貢、パタビヤ、スラバヤ、マニラノ六港トシ將來所要ニ應シ逐次其ノ他ニ進出セシム

三、實施セシムヘキ事項

1. 船員ノ慰安休養設備ノ外

高級船員三〇名 普通船員一〇〇名程度（昭南ハ二倍）ノ宿泊施設並經營

2. 船員ニ對シ日用雜貨品ノ購買

3. 船員ノ郵便物發送受領ノ仲介




0729

4 現地ニ於ケル船員補充ノ斡旋  
 四 施設並經營ノ要領  
 1 初度施設（慰安休養ノ爲ノ特種施設ヲ除ク）ニ限り現地軍ニ於テ  
 實施シ報國團ニ無償貸與ス

2 施設ニ要スル建物等ハ極力押收敵産ヲ利用スルモノトス  
 2 經營ハ現地船舶機關ノ管理下ニ之ヲ實施セシメ經營ニ要スル資金  
 ハ南方開發金庫ヨリ融通スルモノトス

3 右融通資金ハ毎年度末毎ニ海運報國團本部之ヲ返済スルモノトス  
 3 日用雜貨品ハ當分ノ間軍酒保品ノ一部ヲ流用シ宿泊ニ要スル寢具  
 等ハ軍需品中現用品ヲ貸與スルコトヲ得

7820

課 帶 連 兵備 補任 <small>警務、軍務、風賞、衣糧、鑄鑛、醫查、主計、船舶、</small>	決裁指定 次官	件 名 日本海運報國團南方進出ニ關スル件	連 帶 票 九月十四日 整備局交通課 	
	連 帶 印 局長			軍 需 課 御 中
				
	課 長 			
連帶運行期限 九月十五日迄				

7820





三團に於ては、各軍の経費を負擔するに並ぶるに別致あり、  
 幹部職員に有給休暇とする等、外軍政費より團ノ事務費及  
 事務費の一部に充てしむるべし、  
 別致あり、幹部職員に有給休暇とする等、各軍に有給休暇とするに  
 軍事船舶校同の勤務せしむる命、命譯するべし、  
 通牒九、録下各軍、三船司  
 等 次官、船司



陸軍省 外務省  
 日本海運報國團南方進出ニ関スル件通牒  
 昭和七年九月三十一日 陸軍次官 木村兵太郎  
 南方軍總務課長 黒田重徳殿  
 南方地域に於ける船隻ノ燃料供給施設設置ノ別致ニ  
 基き、日本海運報國團ヲ進出せしむるに一定ノ別致ニ付通牒ス  
 通牒九 南方總軍島渡治林部隊船舶司令部